

看護職員等の負担軽減及び 処遇改善に関する取り組みについて

当院においては、看護職員等の負担の軽減及び処遇の改善に資することを目的とする計画を策定し、これに基づき下記の取り組みを実施しております。

◇看護師と他職種における役割分担

- ・薬剤師 : 病棟での服薬指導、持参薬の管理等
- ・診療放射線技師 : R I 検査の注射
- ・臨床検査技師 : 検体検査容器の作成、採血管の準備
- ・臨床工学技士 : 医療機器の効率的な中央管理、内視鏡・手術の医療補助
- ・リハビリ : リハビリ室への移動に介助を要する場合、移送の実施

◇看護補助者の配置

◇多様な勤務形態の導入

◇妊娠、子育て期間中、介護中の看護職員に対する職場環境の改善

- ・院内保育所の設置
- ・出産・子育て、介護に関する制度の説明と制度が利用できる環境づくりへの取り組み

◇夜勤負担の軽減

- ・看護師のシフト間隔や1ヶ月1人当たりの夜勤回数が8回以内となるよう業務負担軽減に努める

◇業務量の調整

- ・時間外勤務の縮減への取り組み

◇職員に対する周知

院内掲示により周知する体制とする

独立行政法人

国立病院機構四国がんセンター

院長 山下 素弘